

「沖縄21世紀ビジョン」 地域フォーラム（全6地区）の概要

平成21年3月4日
企画部 企画調整課

【地域フォーラム6地区のまとめ】

- 開催期間：平成21年1月27日（火）～2月10日（火）13:30～
- 開催場所（概要ページ）：
 - [那覇・浦添・宜野湾地区] ⇒ 浦添市（H21.1.27(火)）開催 (P 2)
 - [北部地区] ⇒ 名護市（H21.2.2(月)）開催 (P 4)
 - [南部地区] ⇒ 南城市（H21.2.3(火)）開催 (P 6)
 - [中部地区] ⇒ 読谷村（H21.2.5(木)）開催 (P 8)
 - [宮古地区] ⇒ 宮古島市（H21.2.9(月)）開催 (P11)
 - [八重山地区] ⇒ 石垣市（H21.2.10(火)）開催 (P13)
- 講師など：各地区ともコーディネーターとパネリスト3～5名で実施
- 将来像等：各地区フォーラムで、中学・高校生およびパネリストから出された
[将来像] [その実現に向けた取り組み] は、次頁以降に概要を記載
- 参加者計：全6地区計 700名が参加

【那覇・浦添・宜野湾地区】

●開催日時：平成21年1月27日（火）13:30～16:00

●開催場所：浦添市産業振興センター〔結の街〕（3F 大研修室）

●講師など：

〔コーディネーター〕昭和薬科大学附属中学・高校ディベート部 森 顧問

同部 額田 副顧問

〔ディベート実演〕昭和薬科大学附属中学・高校ディベート部

（中学生4名、高校生4名）

テーマ『沖縄は中学生以上による住民投票制度を制定すべきである。是か非か。』

●参加者数：80名

●概要：

△ 自然と風景

〔美ら海や自然の海岸線が残った沖縄〕

- ・沖縄の将来像は、美ら海が残り、サンゴ礁など多様な生物が住む沖縄だ。
- ・そのためには、土地改良事業等による赤土の流出を食い止め、海岸や干潟の埋め立てをしないことが必要だ。

△ 伝統・文化

〔沖縄らしい地域と伝統文化が残った沖縄〕

- ・沖縄の将来像は、地域の強い連帯意識や緊密な人間関係等の県民性や、すばらしい伝統文化が残った沖縄だ。
- ・そのためには、学校で伝統文化を学ぶ場を設ける等、沖縄の伝統文化を受け継ぐ対策が必要だ。

△ 安全・安心

〔安全で、安心して暮らせる沖縄〕

- ・沖縄の将来像は、若者の雇用を増やすなど、若者から年寄りまでが笑顔で暮らせる沖縄だ。
- ・そのためには、亜熱帯特有の作物の県外・国外への輸出や、観光業の活発化等により、雇用の創出が必要だ。

△ 希望と活力

〔少子化問題が解決した沖縄〕

- ・沖縄の将来像は、子どもを生子、育てやすい社会の実現だ。
- ・現状のまま少子化が進むと、将来の働き手がいなくなってしまう。少子化を食い止

めるため、2人目以降の子どもの出産・育児に助成金を出す、新生児や児童、保護者に最適な環境を提供する等の抜本的な対策が必要だ。

〔住民による、住民のための自治が実現した沖縄〕

- ・沖縄の将来像は、住民自身が地域の問題を話し合う等、住民が自治に密接に関わる社会の実現だ。
- ・自治体任せではなく、住民の意見をできるだけ取り入れた自治をすべきで、住民自身がその地域の問題を話し合うような、住民が自治に密接に関わることが重要だ。
- ・住民間の関わりが増えれば、犯罪の防止にもつながる。

△ 交流と共生

〔国際交流が進んだ沖縄〕

- ・沖縄の将来像は、米軍基地との友好や、歴史的つながりの強い中国との交流が盛んな沖縄だ。
- ・国際交流が盛んになることで、相手国のことや事情を理解することができ、それにより、沖縄の意見が国際的に重要なものとなる。

〔米軍基地と共存する沖縄〕

- ・米軍基地相手の商売など基地があることによる経済効果があり、雇用効果もある。また、国際交流のチャンスもある。
- ・基地を排除するのではなく、基地と共存していくことが重要だ。

△ 多様な個性と能力

〔学力レベルの高い沖縄〕

- ・現在、沖縄の学力は最下位であり、より学力レベルを上げる必要がある。
- ・そのためには、少人数クラス制の導入など財政的な負担が上がっても、学力レベルの向上に向けた大々的な対策をすべきだ。

【北部地区】

●開催日時：平成21年2月2日（月）13:30～16:10

●開催場所：名護市民会館（中ホール）

●講師など：

〔コーディネーター〕平田大一（有限責任中間法人 TAO Factory 代表理事）

〔パネリスト〕鈴木邦治（北部生涯学習推進センター長）

平良美恵子（喜如嘉芭蕉布事業協同組合理事長）

満名匠吾（やんばる料理研究会理事）

山城定雄（東村振興事業推進室室長）

●参加者数：190名

●概要：

△ 自然と風景

〔豊かな自然環境に囲まれた沖縄〕

- ・豊かな自然環境を守るためには、環境ビジネス推進のための人材育成を進めることが重要だ。

△ 伝統・文化

〔伝統のある個性が魅力的な沖縄〕

- ・将来の沖縄が沖縄としてあり続けるには、伝統工芸など文化による色づけが大切だ。
- ・そのためには、沖縄の工芸に触れる場を作り、情報を発信することが重要だ。
- ・また、県民が使ってこそ文化を守ることになり、工芸品の利用を県民に奨励することにより、工芸産業の育成、雇用創出にもつながる。

〔独特の食文化の息づく沖縄〕

- ・将来の沖縄にとって、先人が残してくれた食文化を継承していくことが大切だ。
- ・そのためには、食文化・食材に携わるホテル・飲食店・学校給食と、生産者、消費者との情報の一元化が必要であり、さらに、これによってできた「人と人とのつながり」も重要だ。

〔生活文化をつなぐ島々の沖縄〕

- ・幾世代も古酒を継承していく「万年古酒」をたしなむ生活、また本物の健康食生活ができる沖縄の暮らしを実現する。
- ・そのためには、仲間で「つくり、たしなみ、つなぐ生活文化」、それを支える「健康食」の需給を育む沖縄づくりが必要だ。

〔古いものが現代に息づく沖縄〕

- ・沖縄の古い物（ユイマール、イチャリパチョーデー、チムグクル etc）をどう新しくし、現代沖縄に引き継いでいくかが重要だ。

△ 希望と活力

〔安心して仕事のできる沖縄〕

- ・沖縄の将来にとっては、沖縄の宝「人」を活かすことが大切であり、そのためには、安心して仕事のできる社会を実現するべきだ。
- ・そのためには、県が推進する IT、観光と、もうひとつの柱である「環境」が重要だ。環境ビジネスを推進し、そのための人材育成が必要だ。

〔地域が元気な沖縄〕

- ・地域資源を活かすことで、住民参加の盛んな活気ある地域づくりができる。

〔豊かな生活のある沖縄〕

- ・活気ある地域づくりが実現すれば、雇用が増え、観光客が増え、豊かな生活のある沖縄が実現する。
- ・そのためには、地域資源を活かし、地域資源に付加価値を付けることが重要だ。

△ 交流と共生

〔自然との共生・都市との交流〕

【南部地区】

●開催日時：平成21年2月3日（火）13:30～16:15

●開催場所：南城市文化センター シュガーホール（2F集会室）

●講師など：

〔コーディネーター〕 上原良幸（県企画部長）

〔パネリスト〕 安里繁信（シンバホールディングス(株)代表取締役社長）

古謝景春（南城市長）

白石武博（(株)カヌチャベイリゾート代表取締役社長）

山内カンナ（デザイナー）

●参加者数：100名

●概要：

△安全・安心

〔「住みよい島は、呼びよい島」「呼びよい島は、住みよい島」〕

- ・これからの街（島）づくりは、「自然に人の集う場所＝住みよい街（島）は、呼びよい街（島）」との考えに基づいて進めるべきだ。
- ・具体的には、バリアフリー型社会、環境対応社会、周辺との共生、一次産業・二次産業との共生、安全・安心な街づくりが重要だ。

△希望と活力

〔人の和、地域の和を大切に、地域に魅力のある沖縄〕

- ・地域の資産を活かして、ひとづくり、まちづくりをしていくことでコミュニティは活性化され、元気なまちづくりが実現する。
- ・そのためには、市民との協働によるまちづくりを基本に、まちづくりに積極的に参画する市民意識の広がりを大切するべきだ。
- ・また、今後はコミュニティが重要だ。地域力、文化力、人間力をさらに高め発展させることが大切だ。

〔沖縄県株式会社として観光産業が発展した沖縄〕

- ・沖縄の最大の魅力は、豊かな自然と心優しい人々の生活・文化だ。沖縄の魅力を守りつつ、外貨を獲得できる産業を育成することが大切だ。
- ・観光産業は、仕事が出来て、住みよい環境が作れる有効な産業だ。
- ・観光産業の育成には、教育が重要で、人材というインフラの整備が必要だ。

〔外需型の地場産業が活躍する沖縄〕

- ・「沖縄だから」との考えは止めて、現行振計中に地場産業を育成することが重要だ。
- ・そのためには、外需をどう活かすかだ。沖縄は島国であり、お金をうまくまわすことができるはずだ。

〔農業が発展し、観光業と融合した沖縄〕

- ・沖縄の将来にとって、農業の振興は重要だ。安価な外国産を選ぶ消費者の意識を変えることで、地産地消も進む。
- ・また、農業体験型観光の推進により、農業と観光の相乗効果を図ることも重要だ。

△ 交流と共生

〔日本、世界へ発信できる沖縄〕

- ・沖縄にあるものや、沖縄自体の希少性を日本、世界へ発信して、世界を相手に活動する沖縄を実現する。
- ・そのためには、異業種間の交流を盛んに行い、県内企業が力を合わせることも重要だ。

〔県民の意志の共有ができた沖縄〕

- ・ビジョンを作るに当たっては、意志の共有が重要で、「この仕事でみんなが食べている」という認識の共有が最も大切だ。

〔県益・国益・地球益に寄与できる沖縄〕

〔国益や東アジアに貢献できる沖縄〕

- ・沖縄は人口が伸びており、若者が多い。この点が沖縄の強みだ。国益、あるいは東アジアに貢献できる沖縄の実現が必要だ。

【中部地区】

●開催日時：平成 21 年 2 月 5 日（木）13:30～16:50

●開催場所：読谷村文化センター（中ホール）

●講師など：

〔コーディネーター〕平田大一（有限責任中間法人 TAO Factory 代表理事）

〔パネリスト〕照屋幹夫（まちづくり NPO コザまち社中 代表）

西平朝吉（読谷村商工会事務局長）

宮里大八（沖縄県振興審議会総合部会委員）

山内繁雄（宜野湾市基地政策部部长）

●参加者数：70名

●概要：

△ 自然と風景

〔昔の形が残った沖縄〕

- ・沖縄の将来像は、高齢者に優しい地域であって欲しい。そして、海岸線など昔の形の残った地域であって欲しい。

〔自前の新エネルギーの導入〕

- ・新エネルギー（太陽光、バイオエタノール etc）を導入するなど県民が消費するエネルギーは全て県内で確保できるようにしてはどうか。
- ・エネルギーを自給することにより、市民生活、産業発展、自然環境保護に、画期的な効果が期待できる。

△ 希望と活力

〔地域力のある沖縄〕

- ・文化が観光の魅力になる沖縄を実現すべきだ。
- ・地域の特性を活かした事業化が大切だ。北部地域におけるエコツーリズムに対して、中部ではカルチャーツーリズム事業を推進していく。

〔経済的自立をした沖縄〕

- ・自立型経済を目指す沖縄では、少子超高齢化社会への対応、既存産業の高度化、新たな産業の創造、自然との共生、沖縄の発展を担う教育等を行うべきだ。
- ・経済的自立のためには、琉球王国時代に自立し、大交易時代を築いた琉球王国をモデルとしつつ、知の大交易時代へと船出できる沖縄を担う人財の育成が重要だ。

〔琉球王国の大交易時代の復活〕

- ・沖縄の将来像は、1450年代琉球王国の大交易時代の復活だ。(温故知新)
- ・そのためには、「平和の発信地」「経済の活性化」「国際交流の推進」「自然環境の保護」が重要だ。
- ・平和の発信地としては、国連機関を誘致してはどうか。また、オリジナルの文化を大事にした振興が重要だ。

〔基地返還跡地を活用した豊かな沖縄〕

- ・今後、嘉手納基地以南の1000haもの基地が返ってくる。返還跡地は、地権者の財産であると同時に、県民の大きな公的財産だ。
- ・地域特性を活かした跡地利用計画が必要だ。

〔それぞれの地域が活力ある沖縄〕

- ・地域の経済力が重要であり、地域力を高める必要がある。地域づくり、村づくりにより事業化を進め、雇用を創出することが大切だ。
- ・そのためには、地域のすべての資源をブランド化し、全国展開を図るなど地域づくりを進める必要がある。
- ・また、農業、商工業など各産業間の連携、事業・企業化、コミュニティビジネスの発掘・育成など地産地消を推進することが大切だ。

〔海洋テーマパークの建設〕

- ・沖縄の自立化には、国内依存型観光から、国際観光立県への転換が必要だ。
- ・そのため、魅力ある観光資源として、水上都市型テーマパークを建設してはどうか。

〔水産王国「おきなわ」の実現〕

- ・沖縄近海に巨大海洋牧場を建設し、水産王国「おきなわ」を実現してはどうか。
- ・沖縄の海域は、長崎～東京に匹敵する面積を有しており、日本一の水産王国になれるのではないか。

〔新たな交通手段の導入〕

- ・沖縄本島内に、糸満市～名護市間の南北縦断鉄軌道の導入が必要だ。
- ・離島への交通手段としては、定期便として低コスト運航が可能な飛行船を運航させてはどうか。

△ 交流と共生

〔嘉手納基地の跡利用〕

- ・嘉手納基地の跡利用として、宇宙空港を建設してはどうか。
- ・宇宙空港が実現すれば、沖縄経済は、東アジアのハブとして自立可能となる。

〔国際観光による豊かで平和な沖縄〕

- ・世界的な国際観光地となることで、異文化との相互理解（相互交流）、共生社会、平和と安定に貢献する「自立した豊かで安全な沖縄」が実現する。
- ・軍事基地に依存しない「国際観光立県」を実現することが重要だ。

△ 多様な個性と能力

〔人財が活躍する沖縄〕

- ・経済的に自立するためには、沖縄を担う人財の育成が重要だ。
- ・具体的には、内と外の人材育成が重要だ。

「内」とは、寺子屋的な学びの場を提供し、県内各地で次世代のリーダーとなる人材の育成

「外」とは、県内の中高生を 100 人規模で県外（国内外）に交換留学生として派遣し、他の世界、異文化との交流による人材の育成

〔沖縄サイバー大学の誘致〕

- ・IT 技術を結実させた沖縄サイバー（インターネット）大学を誘致してはどうか。
- ・これにより、離島県というハンディが克服できるとともに、県民だけでなく国外からも学生を集めることが可能となり、国際交流も促進することができる。

【宮古地区】

●開催日時：平成21年2月9日（月）13:30～16:10

●開催場所：宮古支庁（2F講堂）

●講師など：

〔コーディネーター〕 富川盛武（沖縄国際大学学長）

〔パネリスト〕 池城かおり（科学コミュニケーター・図書館ボランティア）

伊志嶺敏子（伊志嶺敏子一級建築士事務所代表）

上地登（ユートピアファーム宮古島代表）

川上哲也（元校長）

下地徹（身体障害者更生援護施設 青潮園施設長）

●参加者数：170名

●概要：

△ 自然と風景

〔エコアイランドの住まいと街づくり（居住空間）〕

- ・沖縄の将来像は、心地よく、安心な居住空間の実現だ。
- ・そのためには、環境共生のための先人の知恵と現代の技術から作る「島独自の技術基準」が必要だ。現在の建築基準法は、沖縄に対応していない。
- ・「島独自の技術基準」づくりは、世界の蒸暑地域（20億人が居住）への技術提供で国際貢献も可能となる。

〔共生の島〕

〔自然と人に優しい島〕

△ 伝統・文化

〔文化や知恵が継承される沖縄〕

- ・沖縄の将来像は、年配者（達人）が持つ「技術、技能、知識、知恵」等を後輩である若者に「引き継ぐ＝分け与える」社会の実現だ。
- ・文化や知恵の継承を「ひとづくり」の一環として、地域の活性化につなげていく必要がある。

△ 安全・安心

〔自助、共助、公助社会「沖縄」〕

- ・沖縄の将来像は、「自助」「共助」「公助」のバランスの取れた社会の実現だ。
- ・高齢化社会を迎えるに当たって、行政の支援も重要だが、高齢者が自立した生活ができるよう、また後天的障害者にならないような自助努力が必要だ。住民は、すべてのことについて自立に向けた努力をする必要があり、行政もその支援方法を、住民と共に構築すべきだ。
- ・また、少子化の進行もあり、地域では、世代を超えた共生が重要だ。共生とは、人間関係の再生だ。

△ 希望と活力

〔農業の発展による豊かな宮古島（沖縄）〕

- ・将来像は、島（沖縄）の一次産業（農業）の発展による豊かな宮古島（沖縄）の実現だ。
- ・そのためには、島（沖縄）の農業の原点であるサトウキビと畜産の複合経営形態を確立しながら、マンゴー等のトロピカルフルーツを取り入れ、その形を観光と結びつけていくことが必要だ。
- ・具体的には、今の10倍の規模の農業研究センターを作って欲しい。亜熱帯農業研究所の規模拡大と機能充実が必要だ。

△ 多様な個性と能力

〔進歩ある社会〕

- ・沖縄の将来像は、ひとりひとりの問題意識がそこでとどまることなく、よりよく改善するための実行力へつながる社会の実現だ。
- ・そのためには、ひとりひとりが自分の必要とする情報を的確に集め、また必要とする他の誰かへ情報を提供する「知恵の分かち合い」が実現している社会を目指す必要がある。
- ・「個人の実行力が活かせる社会づくり」「流されることのない社会づくり」が必要であり、その時に重要となるのが情報だ。沖縄、宮古の独自性につながる情報を集め、発信することが必要だ。

〔人間力に満ちた島〕

〔夢のある島〕

【八重山地区】

●開催日時：平成 21 年 2 月 10 日（火）13:30～16:00

●開催場所：八重山支庁（2F 大会議室）

●講師など：

〔コーディネーター〕 富川盛武（沖縄国際大学学長）

〔パネリスト〕 上村真仁

（WWF サンゴ礁保護研究センター「しらほサンゴ村」代表）

渡嘉敷一史（八重山経済人副代表幹事）

橋爪雅彦（農法有限会社 川平ファーム代表）

<体調不良により欠席> 前津さをり（エフエム石垣サンサンラジオ社長）

●参加者数：90名

●概要：

△ 自然と風景

〔多様な生物が生きる沖縄〕

- ・沖縄の将来像は、沖縄の生物多様性が維持された社会の実現だ。
- ・そのためには、自然と調和した暮らしを実現する必要がある。

〔人に優しく、自然と調和した街〕

〔豊かな自然がある島〕

△ 希望と活力

〔個性と活力のある持続的に発展する沖縄〕

- ・豊かな自然に支えられた、個性と活力ある持続的な地域づくりが重要だ。
- ・ビジョンづくりに当たっては、文化・地域コミュニティが重要であり、住民意見を取り入れたボトムアップによるビジョンづくりが必要だ。

〔強い産業「観光産業」を中心とした経済発展〕

- ・沖縄の将来像は、強い産業を「観光産業」と位置づけ、「観光産業」を中心として経済発展する沖縄だ。
- ・そのためには、県外や国外からのイン・アウトの利便性を高め、観光の流動化を促すということが重要だ。
- ・また、観光受け入れ態勢のインフラ整備も重要だ。

（地域産業との連携、情報共有のための IT 化推進、医療整備、宿泊施設整備 etc）

[アジアの観光のメッカ]

[みんなが働ける島、みんなに職がある島]

△ 伝統・文化

[新しい芸能文化を創造する沖縄]

- ・沖縄の将来像は、子ども演劇をテーマとした郷土文化の見直しと、新しい芸能文化を創造する沖縄だ。

[新しい食文化を創造する沖縄]

- ・沖縄の将来像は、特産品における新しい食文化を創造する沖縄だ。
- ・沖縄を中心とした絵を描く場合、商圈は大陸や東南アジアまで広がり、両地域を見据えた食文化の創造が重要だ。

[多様な文化がある島]